保証書

マイコンコーヒーメーカー保証書

持込修理

取扱説明書、本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	EN-ZE100
●お客様 お名前	☎
ご住所　〒	
●お買い上げ日　年　月　日	●販売店名・住所
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	☎

修理メモ

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1. ご転居、ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
   （ニ）業務用の長時間使用、車輌、船舶へのとう載に使用された場合の故障および損傷。
   （ホ）本書のご提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
   （ト）消耗部品の交換。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎(06)6356-2391

愛情点検　長年ご使用のマイコンコーヒーメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか
●ご使用中、電源コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●ガラス容器のとっ手がぐらつく
●その他の異常や故障がある

ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

ZOJIRUSHI

マイコン コーヒーメーカー 珈琲通®

型名 EN-ZE100 型　取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用の前に

●ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
●いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告　取り扱いを誤った場合、死亡または重傷[※1]を負うことが、想定される内容を表します。

注意　取り扱いを誤った場合、傷害[※2]または物的損害[※3]の発生が、想定される内容を表します。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

注意　△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

禁止　⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

指示　●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠警　告

分解禁止
改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止
水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止
ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。

接触禁止
蒸気口に手を触れない
やけどをすることがあります。
特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

禁止
電源コードを傷つけない
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

禁止
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

禁止
容器（ガラス容器）なしで使わない
やけどをする恐れがあります。

禁止
交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

禁止
電源コードや差込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

必ず実施
差込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

必ず実施
定格15A以上のコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

必ず実施
差込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふく
火災の原因になります。

⚠注　意

接触禁止
使用中や使用後しばらくは高温部に手を触れない
やけどやけがの原因になります。

プラグを抜く
使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁止
不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
火災の原因になります。

禁止
抽出中にガラス容器をはずさない
やけどの原因になります。

禁止
壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

禁止
ガラス容器をのせたまま本体を動かさない
やけどやけがの原因になります。

必ず実施
差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く
感電・ショート・発火の原因になります。

必ず実施
お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

お願い

■**水にぬれた場所で使用しない**
感電の原因になります。

■**ガラス容器を直火にかけたり電子レンジで使用しない**
割れたり、とっ手が変形したり金属部から火花が飛び散る原因になります。

■**ガラス容器が熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない**
傷がつくと破損しやすくなります。もし割れた場合は、取り除くときに手を切らないよう十分ご注意ください。

■**続けてコーヒーを作る場合は「とりけし」キーを押して、約5分以上待つ**
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると湯出口から突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

■**空だきはしない**
保温時以外に水容器に水を入れずに通電すると故障の原因になります。

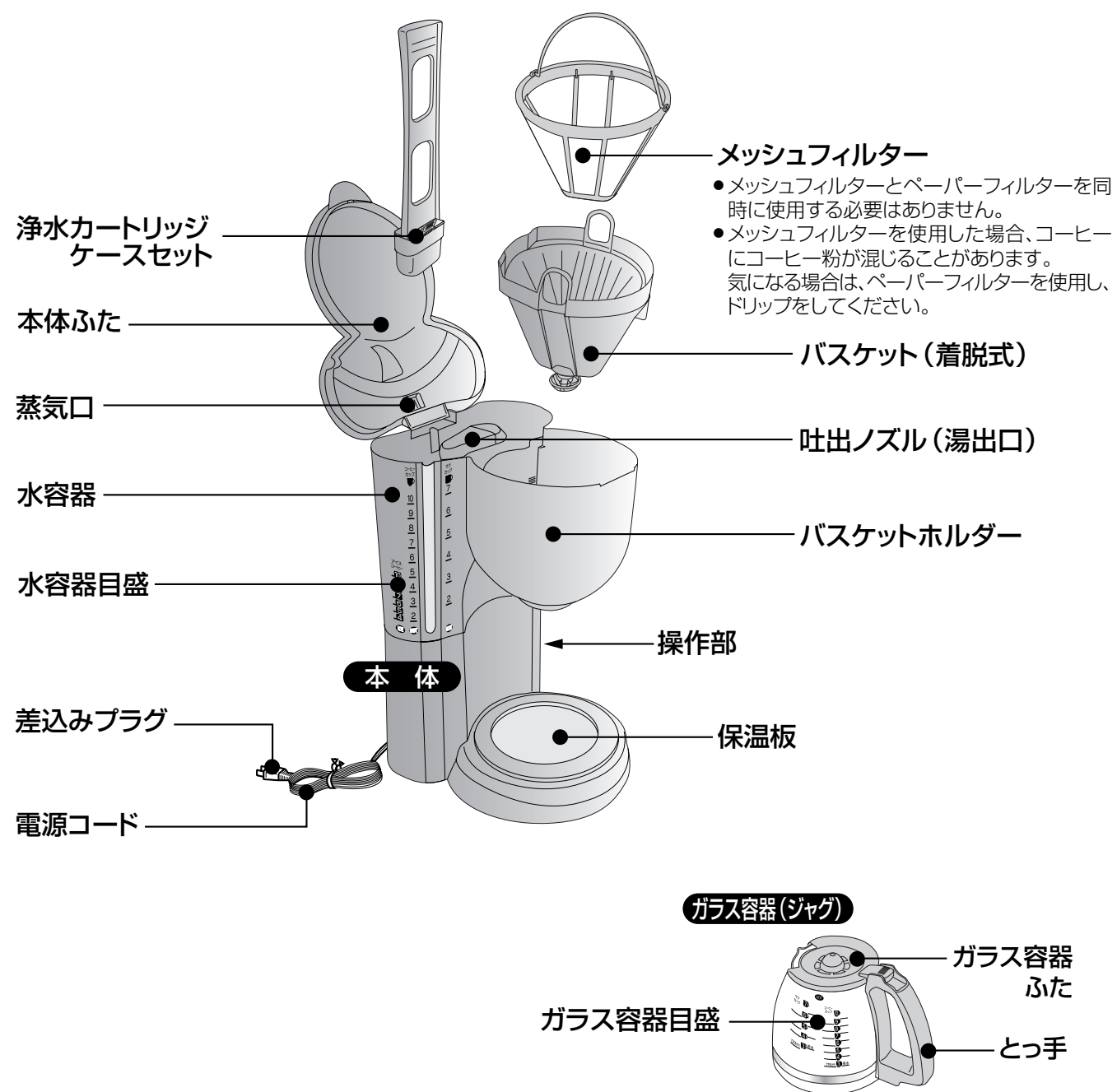
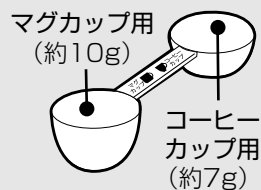
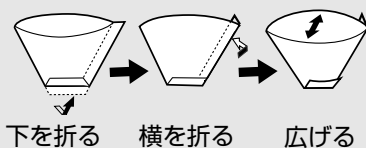
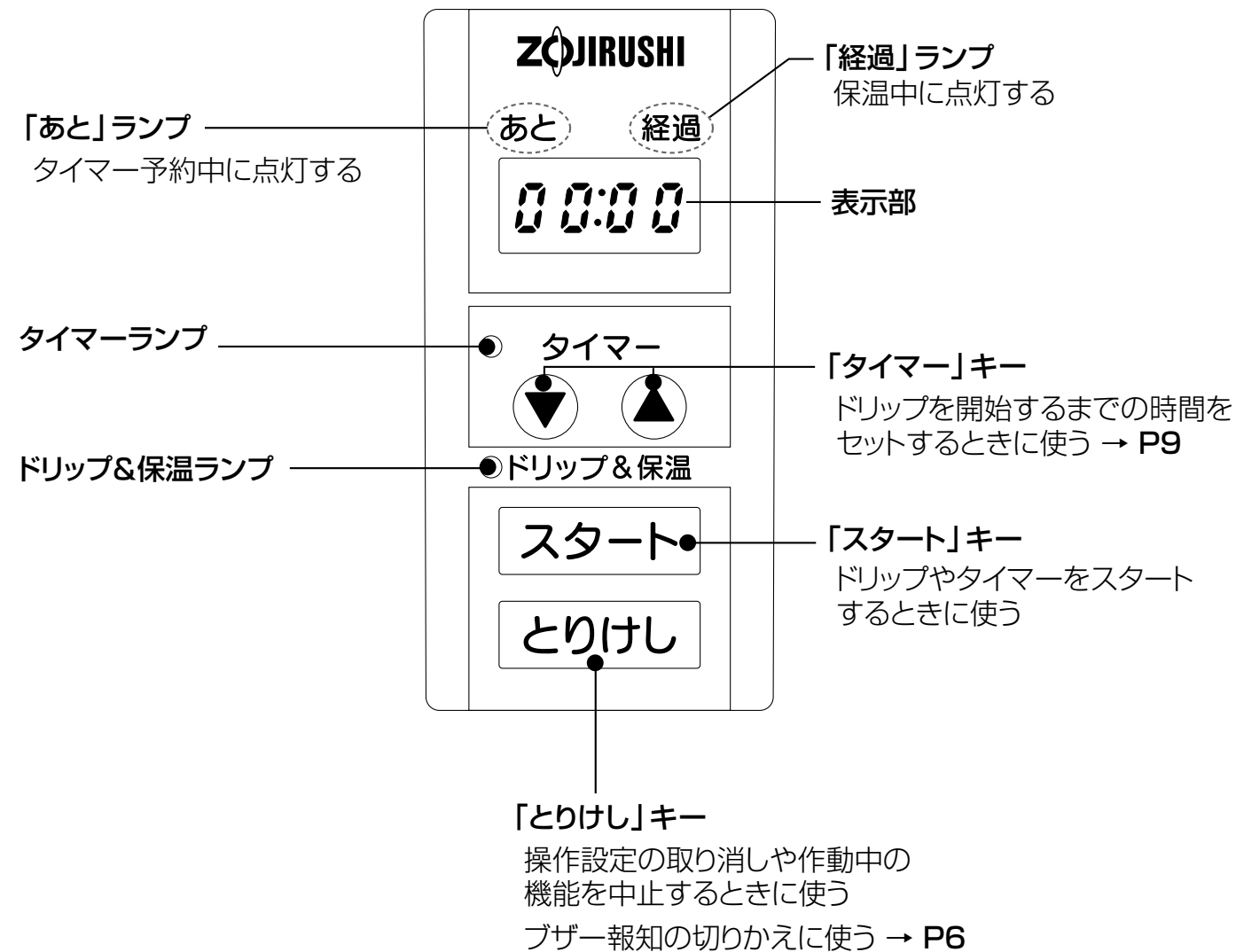
■**ガラス容器は、落としたり、固いものにぶつけたりしない**
ガラスが割れてけがの原因になります。

■**他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない**
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■**水容器に水以外のものを入れない**
牛乳や酒、コーヒー、湯など水以外のものを水容器に入れると故障の原因になります。

■**本体ふたを持って運ばない**
本体ふたがはずれ、けがをする恐れがあります。

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

各部のなまえ

付属品

操作部のなまえとはたらき

表示部

●差込みプラグをコンセントに差し込むと表示部に「00:00」が点灯します。このときキーを押さずに放置すると5分後に表示部は消灯します。
●消灯中に「とりけし」キーを押すと、再度表示部に「00:00」が点灯します。
●消灯中に「スタート」キーを押すと、表示部が点灯し、ドリップを開始します。
●消灯中に「タイマー」キー（▼ または ▲）を押すと表示部が点滅し、タイマー予約セットができます。

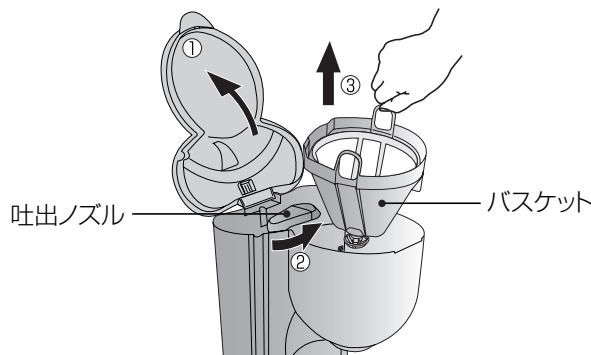
正しい使い方

この商品は、コーヒーを作るためのものです。
コーヒーを作ること以外に使用しないでください。牛乳や酒、コーヒー、湯など水以外のものを水容器に入れると故障の原因になります。

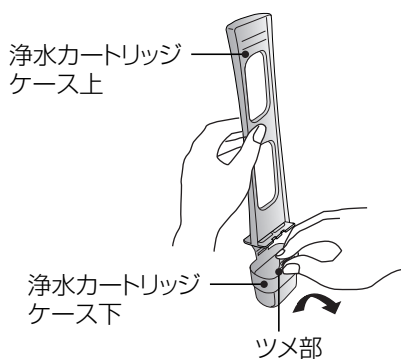
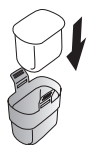
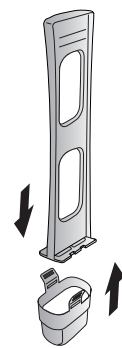
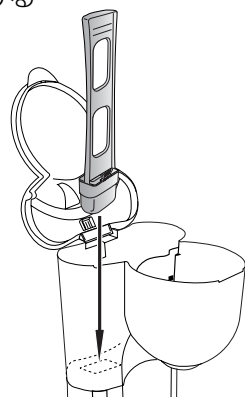
- 初めてご使用になるときや長期間使用しなかったときは浄水カートリッジ・ガラス容器・バスケットなどを洗い、水だけで1～2回ドリップしてください。
- 使い初めのうちは、プラスチックのにおいがすることがありますが、しだいににおいは少なくなります。
また初回は浄水カートリッジの活性炭の黒い粉が落ちることがありますが、これは浄水用の活性炭で無害であり、使用上差しつかえありません。
- 外部の熱が当たる場所では製品を使用しないでください。製品の故障・変色・変形の原因になります。

バスケット

●バスケットの取り出し方

①本体ふたを開ける
②吐出ノズルを水容器側にする
③バスケットを取り出す

浄水カートリッジ

水容器に入れた水を浄水カートリッジに通し、カルキ臭を減らします。

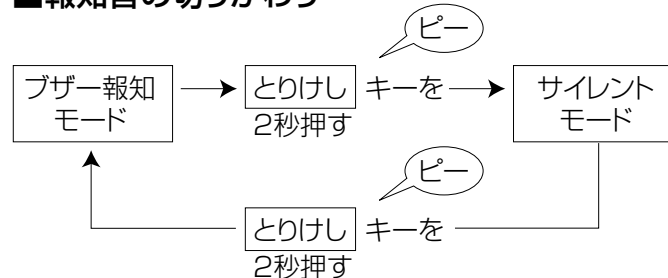
①浄水カートリッジケース下のツメ部を引き、浄水カートリッジ上を取りはずす

②浄水カートリッジを浄水カートリッジケース下に入れる

③浄水カートリッジケース上と浄水カートリッジケース下をセットする

④浄水カートリッジケースセットを水容器内に取り付ける

ブザー報知

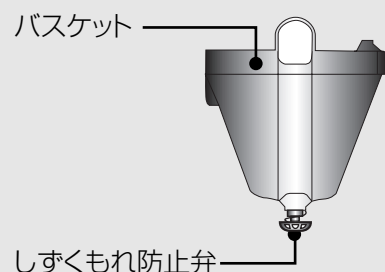
この製品にはドリップ完了時やタイマーセット完了時にブザー音でお知らせする機能がついています。
初期は「ブザー報知モード」に設定されていますが、次の操作で「サイレントモード」※に切りかえできます。

①差込みプラグを差し「00：00」が点灯中に「とりけし」キーを2秒以上押す
②ブザー音が鳴ったら、切りかえ完了
※サイレントモードは、ブザー音を消したいときに使います。

- 差込みプラグを抜いて、しばらくするとブザー報知の設定は「ブザー報知モード」に戻ります。

■報知音の切りかわり

ブザー報知モード → とりけし キーを 2秒押す（ピー） → サイレントモード
サイレントモード → とりけし キーを 2秒押す（ピー） → ブザー報知モード

しずくもれ防止機能

- ガラス容器ふたをしたガラス容器を本体から取りはずしても、コーヒーのしずくがバスケットからもれないようにするしくみです。

ドリップ

1 コーヒー粉を入れる

①本体ふたを開き、吐出ノズルを水容器側にする
②バスケットにペーパーフィルター、またはメッシュフィルターをセットする
③コーヒー粉をペーパーフィルター、またはメッシュフィルターに入れる

- 細びき粉は使わないでください。ペーパーフィルター(メッシュフィルター)が目詰まりし、コーヒー粉があふれることがあります。
- コーヒーカップ1カップ分だけ作ることはできません。2カップ以上で作ってください。

標準使用量

コーヒーカップ数	コーヒー豆量 計量スプーン(すりきり)
2カップ	2杯(約14g)
3カップ	3杯(約21g)
4カップ	4杯(約28g)
5カップ	5杯(約35g)
6カップ	6杯(約42g)
7カップ	7杯(約49g)
8カップ	8杯(約56g)
9カップ	9杯(約63g)
10カップ	10杯(約70g)

マグカップ数	コーヒー豆量 計量スプーン(すりきり)
2カップ	2杯(約20g)
3カップ	3杯(約30g)
4カップ	4杯(約40g)
5カップ	5杯(約50g)
6カップ	6杯(約60g)
7カップ	7杯(約70g)

2 水を入れる

①吐出ノズルをバスケット側にする
②作るコーヒーの量に合わせて水容器目盛の線まで水を入れる
③本体ふたを閉じる

- 水容器目盛の HOT マグカップ用「7」を超える水を入れないでください。
ガラス容器からコーヒーがあふれる恐れがあります。

※水を捨てる場合は、操作部に水がかからないように水容器目盛側から捨ててください。

水容器目盛

- ガラス容器は、水容器へ入れる水量とコーヒーのできあがる量の目やすを示しています。
- ドリップするときは必ず本体ふたを閉じてください。吐出ノズルから湯が飛び散る場合があり、やけどの原因になります。
また、湯が水容器に入り、水容器目盛が変形したり、製品が故障する原因になります。
- 湯は入れないでください。水容器の変形の原因になります。

3 ガラス容器をセットする

必ずガラス容器ふたをして保温板にセットする

- ガラス容器ふたをしないと、しずくもれ防止弁が開かず、バスケットからコーヒーがあふれます。
- しずくもれ防止弁に無理な力を加えないよう静かに入れてください。

4 ドリップする

差込みプラグをコンセントに差し込み、「スタート」キーを押すとドリップ&保温ランプが点灯し、ドリップを開始します。ドリップ中は表示部が次のように表示されます。

- ドリップ途中で「とりけし」キーを押さないでください。
「とりけし」キーを押してしまった場合再度、「スタート」キーを押してドリップを続けてください。
- ドリップ中は本体ふたを開けたり、吐出ノズルを動かしたりしないでください。やけどや製品の故障・変色・変形の原因になります。

できあがり時間の目やす（水量・室温約20℃）

カップ	コーヒーカップ	マグカップ
2カップ	4分	5分
3カップ	5分	6.5分
4カップ	6分	8分
5カップ	7分	9.5分
6カップ	8分	11分
7カップ	9分	12.5分
8カップ	10分	–
9カップ	11分	–
10カップ	12分	–

- できあがり時間は、水量・室温・電圧・豆の鮮度などでかわります。
- 本体をぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。

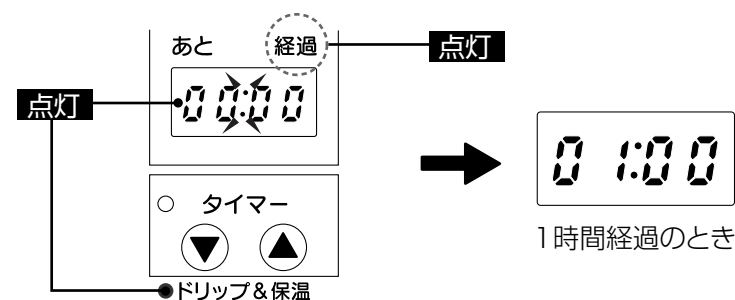
正しい使い方 つづき

5 コーヒーを注ぐ

①ドリップ終了後、ガラス容器を取り出して、コーヒーカップに注ぐ
●ブザー報知後、約1分でドリップ終了です。

●ドリップ終了直後、本体ふたを開けないでください。本体が高温になっており、やけどの原因になります。

②できあがると自動的に保温に移り、「経過」ランプが点灯し、10分単位で保温経過時間を表示する

0 1:00
1時間経過のとき

保温を続けるときは…

ガラス容器にガラス容器ふたをしたまま保温します。

- ●長時間保温しますと、香りがぬけ、風味が悪くなりますので、保温する時間は30分くらいまでとしてください。
- ●保温が約5時間続くと、「切り忘れ防止機能」が働き、ブザーが鳴ってヒーターを切り、保温を停止し自動的に初期「00:00」表示になります。
- ●保温中、誤って「とりけし」キーを押した場合再度、「スタート」キーを押してください。数分間ドリップの表示をした後に保温を再開します。

6 使用後

「とりけし」キーを押し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜く

熱いコーヒーをお好みの方に

- ●あらかじめコーヒーカップを熱湯などであたためておいてから注いでください。
- ●できあがったらガラス容器をそのまま保温板に置いてあたためてください。なお、長時間保温しますと、コーヒーの温度がしだいに上がって香りがぬけ、風味がなくなりますので、保温するときは30分くらいまでとしてください。

連続してコーヒーを作るとき

「とりけし」キーを押して、本体を5分以上冷ましてから「正しい使い方」の手順**1**より行う

- ●本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。吐出ノズルから突然蒸気や熱湯が出る恐れがあり、やけどの原因になります。

ミネラルウォーター使用時のお願い

- ●硬度200以上のものは使用しないでください。製品内部の水管に湯アカ（ミネラル分）が付着して、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。
- ●できるだけ硬度100以下のものを使用してください。
- ●使用中に抽出時間が長く感じられましたら、クエン酸洗浄を行ってください。（10ページ参照）

アイスコーヒーの作り方

準備するもの

◆アイスコーヒー用粉
◆氷
◆シロップ、
生クリームなど

手　順

①ホットコーヒーと同じ手順で作ります。
●計量スプーンは「コーヒーカップ用」を使用する
●水量は水容器の ICE の目盛に合わせる
②グラスに約8分目の氷を入れて、できたてのコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やします。

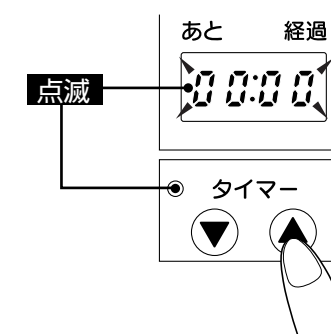
※アイスコーヒーを1〜3カップ作ることはできません。4〜10カップで作ってください。

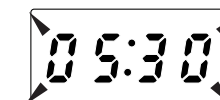
タイマー予約

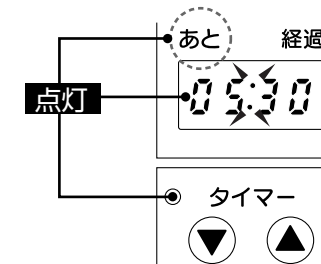
●ドリップ開始までの時間を10分単位で24時間までセットできます。

例：5時間30分後にドリップをスタートさせたいとき

1 ▼ または ▲ を押す

「00:00」の時間表示とタイマーランプが点滅する

2 ▼ または ▲ で時間を合わせる

▲キー　：　10分単位で進む
▼キー　：　10分単位で戻る
●押し続けると1時間単位で早送りができます。

3 スタート を押す

表示部の時間、タイマーランプ、「あと」ランプが点灯にかわりタイマーがスタートします。（表示部の「:」は点滅）
ドリップ開始までの残り時間を10分単位で表示します。
（残り時間が10分になると1分単位）

- ●「スタート」キーを押さないと、タイマー予約は完了しません。
- ●「スタート」キーを押さずに放置すると5分後に「00:00」表示になり予約は取り消されます。

お知らせ

- ●タイマー予約を取り消すときは、「とりけし」キーを押してください。
- ●夏場など室温が高いときは、長時間での設定を行わないでください。水の腐敗や、風味を損なう原因になります。

お手入れ

差込みプラグをコンセントから抜き、本体・保温板が冷めてからお手入れしてください。

本 体 本体ふた	①薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、かたくしぼり、汚れをふき取る ②水でしぼった布でよくふく ③乾いた柔らかい布で水気をふき取る	
浄水カートリッジ	水で流し洗いし、洗った後よく乾燥させる	●浄水カートリッジは消耗品です。水質や使い方により異なりますが約2年に1回が目やすです。(1日1回使用した場合) ●洗剤は使わないでください。
バスケット ガラス容器 ガラス容器ふた メッシュフィルター 浄水カートリッジケース	①台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗う ②水洗いする ③乾いた柔らかい布で水気をよくふき取る	●台所用中性洗剤以外の洗剤などは使わないでください。 ●ガラス容器を、キズのつくスポンジやクレンザーなどで洗わないでください。 (ガラスにキズがつき破損する原因になります。)
しずくもれ防止弁	①バスケットの中に水を入れる ②しずくもれ防止弁を2〜3回押し上げ、汚れを洗い流す	●バスケットのしずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずコーヒーがもれることがありますので毎回洗ってください。
電源コード 差込みプラグ	乾いた柔らかい布でふく	

●本体・電源コード・差込みプラグに直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。(感電や故障の原因になります。)
●食器洗い乾燥機や食器乾燥器に入れて洗ったり乾燥させないでください。(部品の変形の原因になります。)
●熱湯は使わないでください。(変形や割れる原因になります。)
●クレンザー・スポンジのナイロン面・金属たわし・ナイロンたわしなどは使用しないでください。(表面を傷つける原因になります。)
●シンナー・ベンジン・漂白剤・台所用中性洗剤以外の洗剤などは使用しないでください。

湯の出具合が悪くなったときは…

●湯アカが付着し、湯の出具合が悪くなることがあります。次の方法で取り除いてください。
※お手入れの前には、必ず浄水カートリッジをはずす（6ページ参照）
浄水カートリッジをつけたまま下記のお手入れをするとクエン酸のにおいがついたりコーヒーの味がかわる原因になります。
①ガラス容器にクエン酸小さじ2.5杯(約10g)を入れ、次にコーヒーカップの目盛「10」まで水を入れる。
これをクエン酸が水に溶けるまでよくかき混ぜ、水容器に入れかえる
②ガラス容器とガラス容器ふた・バスケットを本体にセットし、ドリップする。クエン酸溶液が水容器目盛「2」まで減ったとき、「とりけし」キーを押す
③ドリップされたクエン酸溶液が冷めたら、中に混ざっている湯アカ(白い結晶など)を除いた溶液を再度水容器に入れ、②をくり返す
④保温板が十分冷めてから、ガラス容器と水容器内にあるクエン酸溶液を捨ててすすぎ、水で数回ドリップする

交換部品・別売品

●損傷した場合は、新しい部品と交換（有償）してください。
●お買い求めの際には、製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
（ホームページでのご購入はP.11参照）

部品名	部品番号
コーヒーメーカー用浄水カートリッジ	718849-00
コーヒーメーカー用ガラス容器（ジャグ）	JAGENZE-○○
コーヒーメーカー用計量スプーン	717250-01
ポット内容器洗浄用クエン酸 ピカポット(30g×4包入り)	CD−KB03-J

○○表示は部品色柄です。お求めの際は製品の色柄までご指定願います。(側面シールに表示)

<表示例> 色柄：BA ブラック

仕 様

定 格	交流100V 900W 50/60Hz
容 量	最大水容量 1420mL
方 式	ドリップ式(保温式)
電源コード	長さ1.3m(ゴムコード)
質 量	約1.9kg
外形寸法（cm）	幅約20.5×奥行約24×高さ約35

●外形寸法はガラス容器のとっ手を除いた寸法です。
●日本国内交流100V専用（定格100V以外の電源では使用できません。）

故障かなと思ったとき

湯が出ない		水容器に水が入っていますか。
ドリップ中	表示部に「E:01」と表示される	温度センサーの故障です。 お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
	表示部に「E:02」と表示される	
	表示部に「E:03」と表示される	差込みプラグをいったん抜いて、もう一度差し込み、再度ドリップしてください。 その後も「E:03」と表示される場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※ の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター 0570-011874
ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます
受付時間 9:00〜17:00 月曜日〜金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
●携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）でのお問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・Tel (06) 6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ・・・・・Fax (06) 6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

ホームページのご案内 消耗品・部品のご購入専用ページ http://www.zojirushi-de-shopping.com/